

## 平成 24 年度第 5 回 男女平等推進市民会議 会議要録

日 時：平成 25 年 1 月 28 日（月）18:30～20:30

会 場：庁議室

参 加 者：山下泰子会長・斎藤利之委員・渡邊恭子委員・鈴木久佐子委員・本田純委員・  
榎本ひとみ委員・西川昌彦委員・荒島久人委員

意見交換：生涯学習課（教育部長）／産業振興課（産業振興課長）／生活文化課（市民部長・男  
女共同参画係長）

事 務 局：市民部長・男女共同参画係長・男女共同参画係員

### ○議題

- (1) 第 4 回男女平等推進市民会議 会議要録（案）について
- (2) 諮問事項の協議
- (3) その他

・議題（1）第 4 回男女平等推進市民会議 会議要録（案）について

事 務 局：今回は事前配布ができなかったため、内容を確認の上、修正等がある場合は事  
務局まで連絡願う。

・議題（2）諮問事項の協議

事 務 局：本日の市民会議は、第 2 次男女平等推進プランの進捗状況評価について、担当  
課との意見交換を中心として進行する。今回は、評価において D 判定となった  
事業の担当課である生涯学習課、産業振興課、生活文化課の 3 課の担当者を市  
民会議に招き、委員との意見交換を行う。どのような手順で意見交換を進行す  
るか確認をお願いする。

会 長：はじめに、男女平等推進は喫緊の課題であるということを、プランの概要版を  
用いて全体的な説明を行い、その後、具体的な意見交換に入る。

事 務 局：評価は、実施事業において視点を踏まえた実績報告がなされているかという点  
と、視点を加味した事業実施が行われているか、視点がなぜ設定されているの  
か意識し、その視点において実施された取り組みか否かという点が対象になっ  
ている。しかし、視点を踏まえて実績報告を書くということ、視点を加味し  
た実績は異なる、ということを担当課に対して事務局が上手く説明できなかつ  
た可能性もあるため、この点を踏まえて意見交換を行ってほしい。次年度はこ  
の部分がしっかり伝わった形で、担当課が実績報告を作成できるように進めて  
いく。

会 長：昨年度までの反省として、視点を定めて評価をするということが不十分であったことが挙げられる。プランを作成したからには、それが活かされる方向で評価をすべきであるとして、市民会議では1年間かけて評価の方法を検討した。どのような視点で評価をするのかということについても考え、10の男女共同参画の視点を定め、それぞれの施策につき、どの視点で評価をするのか割り振りを決めた。そして、今年度は視点を加味した事業実施が行われたかどうか、実施事業について視点を踏まえた実績報告となっているか、という点で評価をしている。市民会議としても、提出された実績報告の内容を十分に理解できていないまま評価をしている部分もあるため、担当課から意見をいただきながら、なぜ取り組みを正しく評価できなかったのか、ということを議論していきたい。

～担当課との意見交換（生涯学習課・産業振興課・生活文化課）～

事 務 局：意見交換の内容については、答申書の中で明記していく。次に各課から意見集約した内容について検討する。

～各課からの意見集約内容についての検討～

事 務 局：各課からの意見については、評価票の中で反映し、明記していく。

今回の進捗状況評価について、全体をとおして意見を伺いたい。

委 員：評価内容に対する担当課との意見交換は、双方にとって意味のあるものであるため、今後も様々な機会において担当課と意見のやり取りを行っていきたい。

事 務 局：それぞれの課に、それぞれの実施目的がある。視点を踏まえて書くことと、加味された事業が実施されることは異なるが、実績報告書を作成する際の捉え方によって内容にばらつきがみられた。コミュニケーションを取りながら評価していく中で見えてくるものもあるため、来年度以降も意見交換の機会を設けていく。

委 員：次回は、担当課も少し慣れてくるという面もあるのではないかと。また、市民会議の評価についても今回の評価が前例となるが、今後は新たな視点が出てくるかもしれない。

委 員：評価されるべき取り組みは評価し、指摘されるべき状況に対しては指摘することで、担当課に対して市民会議の存在意義を知ってもらう機会にもなったのではないかと。また、共に取り組んでいくという姿勢も示せたのではないかと。

会 長：多少なりともコミュニケーションが図れたことで、少し前進したのではないかと。担当課と市民会議が意見交換の機会を持てたということはとても重要である。

委 員：答申書においては、今回が新しい評価方法での初年度だということを明記しておく必要がある。

委員：事業ごと、課ごとに置かれている現状は様々で、さらに男女共同参画の視点を踏まえて取り組むのが難しい事業とそうでない事業があり、その進捗を同じ基準で評価してしまうことの違和感もあると思うが、プランと男女共同参画という面から見た評価と捉えてもらう必要がある。

・議題（3）その他

事務局：今後のスケジュールについて説明する。まず、評価票については本日の意見交換、また、担当課からいただいた意見を反映させた内容で、最終版を作成する。答申書についても、これまでの会議における検討内容を踏まえ案を作成する。

○次回の会議

2月15日（金）18：30～